

福岡大学

学園通信

FUKUOKA UNIVERSITY MAGAZINE

50

June, 2015



Diversity

特集：ダイバーシティがあるからこそ、培われる力

建学の精神

思想堅実・穏健中正・質実剛健・積極進取

教育研究の理念

- 「人材教育」と「人間教育」の共存
- 「学部教育」と「総合教育」の共存
- 「地域性」と「国際性」の共存

CONTENTS

3 特集：ダイバーシティがあるからこそ、育まれる力

9 オープンキャンパス・入試要項

13 情熱の証

- ・学術文化部 音楽研究部
- ・体育部会 スカッシュラケット部

15 充実CAMPUS LIFE

- 法学部法律学科 4年次生
- 藤田 大輝さん

17 研究室を訪ねて

- 宮野 真生子 人文学部文化学科 准教授
- 現代社会は恋愛依存傾向？
- 歴史を検証し哲学的視点から分析

19 講義ライブ90分

- 共通教育科目 保健体育科目「生涯スポーツ演習Ⅲ」
- スポーツを「体と心をつなぐ教材」と捉え
- 実技を楽しみながら人間力を磨く

21 時代を駆ける先輩たち

- アサヒビール株式会社 博多工場
- パッケージング部 部長
- 荒谷 清司さん

25 就活メモリー

- ・ヤマエ久野株式会社 酒類福岡支店 経理課
- 山下 佳裕さん
- ・独立行政法人 国立病院機構 九州医療センター薬剤部
- 牛島 知実さん

27 ヒポクラテスの系譜

- 福岡・アジアロボティクスリサーチ&
- HALリハビリテーションセンターを開設

29 奨学・特待生制度

31 平成27年度 学校法人福岡大学収支予算

33 平成27年度 学校法人福岡大学事業計画

34 寄付者ご芳名一覧

35 ななくま通信

表紙の字 Diversity

書道家 西尾 真紀さん



グローバル化が進み、ダイバーシティ(=多様性)という考えが重要な世の中になってきています。学生の皆さんには、空気なんて読まず、力強くどんどん突き抜けて、人と違うことを楽しんでもらいたい。そんな気持ちで抱えました。

Profile / 10歳から書を始め、福岡県立太宰府高等学校芸術科書道コースへ進学。3年時、福岡大学書道部主催西日本高等学校書道大会にて団体優勝、学長賞を受賞。2002年より現職。書道家としてロゴや広告制作をはじめ広範囲で活動。代表作は九州国立博物館シンボルマーク、伊都菜彩や小愛治のロゴ、他多数。また、フランスやメキシコ等海外で書パフォーマンスを披露。2015年から書道教室を開講。本学と西尾さんとのご縁は、2011年8月に行われた東日本災害ボランティア「福岡大学派遣隊」がきっかけ。学生たちは、西尾さんが揮毫した書「心ひとつに」を掲げ、被災地で活動した。

Diversity

46億年前に誕生したとされる、外周4万kmの地球。

ここには、多種多様な自然があり、70億人のヒトと無数の生命体が生きる。

多様な国・地域と人種、さまざまな文化や思想が存在し

それぞれが自らの自然、文化、伝統を語り、意思を伝え合う。

そして、互いを知り、理解し、認め合う。

異なるヒトとヒト、モノとモノが会って

そこに新たな価値が生まれてくる。

多様性の中でこそ、新たな発見があり、進化がある。

そこで育まれる力。

それこそ、これからの私たちに最も必要とされるものかもしれない。



ダイバーシティがあるからこそ、 育われる力

昨今、この言葉が頻繁に取り上げられています。社会のグローバル化を背景に、国籍、人種、言語、文化、習慣などの違いを超えて、互いを知り、理解し合うことが大切になってきているからです。もちろんそこでは、自分の国やまちの歴史、文化、政治や経済などについて十分語れるだけの知識や見識も必要となります。

多様な学生が学ぶ福岡大学は2014年に「人事が選ぶ大学ランキング(日経HR)」で「対人力」全国1位に選ばれました。何も「対人力」は身近なところだけで発揮される力ではありません。だからこそグローバル社会では欠かすことのできない力、必須の力となつていきます。

この力をどう培っていくか。それはダイバーシティに溢れる環境での自分磨きに他なりません。人と人との関わりに必要な力は、人と人との関わりからしか培われないのではないでしょうか。

「2万人もの多彩な個性との交流」多岐にわたる専門分野を持つ教授陣との出会い「領域を超えた研究成果の創出」このキャンパスを起点に、福大生は自らの可能性を広げていきます。





東日本災害ボランティア「福岡大学派遣隊」

想いを伝え、つなげていくために、今もこれからも

2011年から、東日本大震災の被災地でボランティア活動を行っています。2014年は8月19～23日、「第4次福岡大学派遣隊」として被災地へ赴きました。学生32人、教職員4人の合計36人が事前研修を経て参加、宮城県仙台市と南三陸町でがれき撤去、気仙沼市で高齢者や子どもたちとの交流を行いました。この取り組みは「東日本復興支援プロジェクト」としてこれからも引き継がれていきます。



福岡大学の魅力をたくさんの方にお伝えできるよう頑張ります！

Campus Crew(入学センターボランティアスタッフ)



学術文化部会の存続・発展のため、各部と協力して行事の企画・運営を行っています。

学術文化部会 幹事会



新体制になって、新たな歴史を作れるように頑張ります。応援よろしく願います。

野球部



商学部 商学科 経営学科 貿易学科 / 商学部第二部 商学科



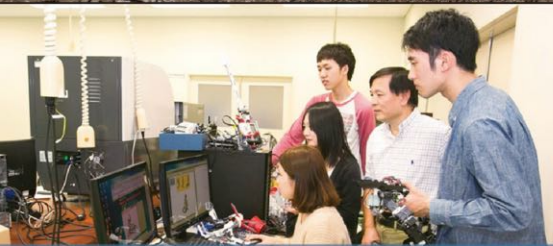
部員全員で協力し、インカレ出場を目指して日々の練習を頑張っています。

バドミントン部



2014年8月に開催された「第68回全日本学生体操競技選手権大会」で、種目別の跳馬で初優勝した。鈴田選手は、世界で2人しかできない最高難度の大技「リ・セグエン」を決めることができる、日本で唯一の選手。福岡大学から、世界の舞台に羽ばたく。

鈴田佳祐さん(スポーツ科学部スポーツ科学科)



工学部

機械工学科 電子情報工学科 社会デザイン工学科
電気工学科 化学システム工学科 建築学科



全員で守り、全員で走るバスケットで、インカレ出場を目指します。

バスケットボール部女子



部員一同、己の成長、社会に通用する人材になるために、日々励んでいます。

合気道部



常にチームで戦う姿勢を忘れずに九州制覇、インカレベスト8を達成します。

バスケットボール部男子



日本の伝統を学ぶとともに、能の復興にも貢献できたらと思います。

能楽部



声を掛け合い、良い雰囲気づくりを心掛けています。最高の仲間と最高の演技をするため、日々の練習を頑張ります！

応援指導部(リーダー部門)



2014年は全日本選手権大会に出場できました。部員一丸となって全国大会に向けて頑張ります。

新体操競技部



共通教育科目

総合教養科目
外国語科目
保健体育科目
単位互換科目



団結力を大切にし、歌うことを楽しみ、聴く人を感動させ、空間を笑顔にします。

メール・ハーモニー部



九州学生選手権連覇、日本学生選手権上位を目指して頑張ります。

水泳部



基盤研究機関

福岡・東アジア・地域共生研究所
先端分子医学研究所
がん分子病態研究所
身体活動研究所
光学医療研究所
脾臓研究所
心臓・血管研究所
再生医学研究所



カバーリング&フォロウの粘り強く福大らしいプレーで「日本一」を目指します。

バレーボール部女子



医学部 医学科 看護学科



理学部 応用数学科 物理科学科 化学科 地球環境科学科

オープンキャンパス開催

日時: 8/8(土) 10:00~16:00

オープンキャンパスで 憧れの福大生を1日体験

オープンキャンパスの開催日が迫ってきました。昨年は台風の影響が心配されましたが、10,158人の参加者を迎えることができ、盛況でした。充実した教授陣、設備環境からこそ実現できる模擬講義や公開実験、クラブ活動見学など、高校生はもろもろ、ご家族の皆さまも興味を持ってご覧いただける箇所をたくさんご用意しています。福岡 ヤフオク!ドーム約44個分の広大なキャンパスを巡りながら、福岡大学の活気あふれる雰囲気をぜひ体感してください。



キャンパスライフを夢見て
来場する高校生たち



ガイドブックをもらって
さあ、スタート



受験対策の必須本、
過去問題集を無料配布

知の宝庫、中央図書館を
見学するツアーを実施



何か分からないときは、遠慮せず
学生スタッフに聞こう



授業で使う機具を使って
の体験コーナー



模擬講義で
大学での学びを体験



学部・学科の長について
詳しく知るチャンス



ガイドブックでプログラムを
チェック



特大マップや案内板で
皆さんを案内

キャンパスで待っています! 学生スタッフからのウェルカムメッセージ



商学部 経営学科 3年次生
末永 真央さん
山口県 野田学園高校出身

百聞は一見にしかず。キャンパスを歩いてこそ分かる
福岡大学ならではの魅力や個性を体感してください。

福岡大学の魅力は、とにかく規模の大きさと多様性だと思います。オープンキャンパスはその魅力の一端を実際に体感できます。

私も高校生の時に県外から参加し、本学のスケールと個性的な雰囲気や学生が多いことに驚きました。キャンパスの広さと活気に戸惑っている参加者を、学生スタッフの方がテキパキと案内している姿を見て「素敵だな」と感じました。開催されるプログラムが多岐にわたるから、事前にウェブサイトを確認し、計画を立てておくことをお勧めします。

私は模擬講義が印象に残っています。高校の授業とは違って、「スターバックスコーヒーとドトールコーヒーの経営比較」という身近なテーマを深く掘り下げた内容にのめり込んでしまい、思わず質問をしたくなるような講義でした。その刺激的な経験が、商学一経営学に興味を持つきっかけになりました。

オープンキャンパスは、入学後の自分をイメージし、受験勉強のモチベーションを高められる貴重な機会です。当日、皆さんをお待ちしています。

平成28年度 入学試験要項決定

平成27年度入試の結果や平成28年度入試の変更点などについて、
入学センター長の高山峯夫教授に聞きました。



入学センター長
高山 峯夫 教授(工学部)

大学入試センター試験利用入試(Ⅱ期)
の出願期間を拡大

平成27年度入試は、センター試験利用入試において、出願時期や教科数などが異なる「Ⅰ期」と「Ⅱ期」に分けて募集を行いました。特にⅡ期は、センター試験後に合格発表日や入学申込金の締切日を遅く設定。さらに、センター試験の総合点のみで合否判定するので、国立大学を併願する受験生が負担なく本学を受験できたと思います。

返済義務のない 給付奨学金制度を新設

平成28年度入試の受験生にとって大きなメリットとなるのが、新入生を対象とした「七隈の杜 給付奨学金」と「七隈の杜 第3子以降特別給付奨学金」の新設です。本学には九州各県はもとより、山口県や広島県など、多くの地域から受験生が集まっています。

まず、こうした入試制度の見直しもあって、平成27年度入試における志願者数は47,389人となりました。これは全国的に見ても非常に多い数字だと言えます。

また、平成28年度入試からは、このセンター試験利用入試(Ⅱ期)の出願開始日を前倒しすることによって、出願期間を長くします。この変更で、受験生は高校の先生や保護者の方とよりじっくり相談することができ、その中で積極的に本学を選択する受験生が増えることを期待しています。なお、センター試験利用入試(Ⅰ期)より入学申込金の締切日を遅く設定している点は平成27年度入試と変更ありません。

す。特に寮生活や一人暮らしを始める新入生にとっては、経済的な負担が大きくなります。そんな新入生を経済面からサポートし、大学で学ぶ意欲を支えることを目的に、平成28年度から始めるのが本奨学金制度です。給付型のため、返済義務はありません。申請時期は11月で、採用候補者の発表は12月中旬を予定しています。出願前に審査結果が分かるので、より集中して受験勉強に取り組んでいただけたらと考えています。

「七隈の杜 給付奨学金」の支給額は、文系学部30万円(商学部第2部15万円)、理系学部50万円。「七隈の杜 第3子以降特別給付奨学金」の支給額は30万円です。この二つの奨学金は併給できます。なお、「七隈の杜 給付奨学金」には入試の成績優秀者に対する「特別増額枠」があり、特別増額奨学生として採用されると、最大で初年度納入金相当額を受給することも可能です。候補者数は合計約3,000人で、この種の奨学金では全国トップクラスの規模です。この新奨学金制度を進路選択の際の応援材料の一つとして捉えてほしいと思います。

最後に受験生の皆さんに伝えたいことがあります。それは、大学で何を学びたいのかという目的を持つことです。総合大学である本学には、志のある学生を成長へと導く魅力的な環境があります。互いに刺激し合える多様な仲間に出会えます。そんな本学の魅力を、8月8日(土)に開催するオープンキャンパスでぜひ体感してみてください。きっと学ぶ意欲や挑戦心が刺激されるはずです。

主な入試制度の概要

一般入試(系統別日程)

全学部を5つの学問系統に分類し、同一系統内であれば1回の試験で複数学科の出願も可能。学科の特性に応じた配点で、3科目400点満点で選考します。

※医学科は4科目(一次選考/400点満点)、小論文・面接・調査書(二次選考/50点満点)により選考します。

一般入試(前期日程)

1試験日に1学科を受験できます。試験日が異なれば併願でき、同一学科の併願も可能。3科目300点満点で選考します。

センタープラス型入試

「一般入試(前期日程)」と「平成28年度大学入試センター試験」の両方における、各学科が指定する教科・科目の総合点で選考します。

大学入試センター試験利用入試(Ⅰ期)

「平成28年度大学入試センター試験」における、各学科が指定する教科・科目の総合点で選考します。

※医学科は大学入試センター試験の総合点(一次選考/700点満点)と面接・調査書(二次選考/50点満点)により選考します。

※スポーツ科学部は大学入試センター試験の総合点(400点満点)と調査書・スポーツ活動歴調査書(100点満点)により選考します。

大学入試センター試験利用入試(Ⅱ期)

「平成28年度大学入試センター試験」における、各学科が指定する教科・科目の総合点で選考します。

A方式推薦入試

高等学校の推薦を必要とする公募型入試制度。調査書、面接、テスト(2科目)により総合的に選考します。

※スポーツ科学部は調査書、面接(作文を含む)、体育実技により総合的に選考します。

入試日程

平成28年3月までに実施する入試の日程です。

入試制度	実施学部(学科等)		出願期間 [※]	試験日等	試験地
AO入試	法	小論文作成 グループディスカッション	8月 1日(土)～8月 8日(土)	8月21日(金)	本学(福岡)
			8月21日(金)～8月27日(木)	一次選考 9月 2日(水) 二次選考 9月12日(土)	— 本学(福岡)
	商(会計専門職プログラム含む) 商二(会計専門職プログラム含む)		8月21日(金)～8月27日(木)	一次選考 9月 2日(水) 二次選考 9月12日(土)	— 本学(福岡)
		スポーツ科	公開練習会	8月 1日(土)～8月 5日(水)	8月 7日(金)・19日(水) 8月21日(金)
	特別講座			8月 6日(木)・20日(木) 一次選考 9月 2日(水) 二次選考 9月11日(金)	— 本学(福岡)
				8月21日(金)～8月27日(木)	
公募推薦	A方式	人文、法、経済、商、商二、理、工、医、薬 スポーツ科	11月 2日(月)～11月10日(火)	11月29日(日)	本学(福岡)
				11月25日(水)・26日(木)	
	B方式 地域枠	経済、工(化学システム工、社会デザイン工) 医(医)		11月28日(土) 11月29日(日)	
		スポーツ 特別推薦	人文、法、経済、商、商二、 理、工、スポーツ科	10月 1日(木)～10月 5日(月)	一次選考 10月20日(火) 二次選考 11月 2日(月)
大学入試 センター試験 利用入試(I期)	人文、法、経済、商、商二、 理、工、医(看護)、薬、スポーツ科	1月 5日(火)～1月15日(金)	大学入試センター試験 1月16日(土)・17日(日)	—	
	医(医)		大学入試センター試験 1月16日(土)・17日(日) 二次選考 2月14日(日)	— 本学(福岡)	
大学入試センター試験 利用入試(II期)	人文(教育・臨床心理、ドイツ語、フランス語)、法、 経済、商、商二、理、工、医(看護)、薬、スポーツ科	1月 5日(火)～1月26日(火)	大学入試センター試験 1月16日(土)・17日(日)	—	
一般入試	系統別日程	人文、法、経済、 商(会計専門職プログラム含む)、 商二(会計専門職プログラム含む)、 理、工、医(看護)、薬、スポーツ科	1月 5日(火)～1月19日(火)	2月 2日(火)	本学(福岡) 東京 広島 大分 名古屋 山口 宮崎 大阪 北九州 鹿児島 高松 長崎 那覇 松山 熊本
		医(医)		一次選考 2月 2日(火)	本学(福岡)・ 東京・名古屋・大阪
				二次選考 2月14日(日)	本学(福岡)
	前期日程	人文(日本語日本文、英語)、法(法律)、商(貿易、 会計専門職プログラム)、理(応用数、地球 圏科、ナノサイエンスインスティテュート)、薬	1月 5日(火)～1月19日(火)	2月 3日(水)	本学(福岡) 広島 山口 山形 熊本 長崎 大分 宮崎 鹿児島
		人文(文化、東アジア地域言語)、法(経営 法)、商(商)、理(物理科、化、社会数理・ 情報インスティテュート)		2月 4日(木)	
		人文(教育・臨床心理、ドイツ語)、経済 (産業経済)、商(経営)、工(機械工、電子 情報工、社会デザイン工)、薬[理科重 視型]、スポーツ科(健康運動科)		2月 5日(金)	
		人文(歴史、フランス語)、経済(経済)、商二、 工(電気工、化学システム工、建築)、医(看護)、 スポーツ科(スポーツ科[小論文型])		2月 6日(土)	
		スポーツ科(スポーツ科[実技型])		2月 6日(土)・7日(日) 2月11日(木)・12日(金)	本学(福岡)
		人文、法、経済、商、商二、理、工、医(看護)、 薬、スポーツ科 (スポーツ科[小論文型]、健康運動科)		2月11日(木)	本学(福岡) 宮崎 東京 山口 鹿児島 大阪 北九州 鹿児島 高松 長崎 那覇 松山 熊本 広島 大分
		『センタープラス型入試』を人文学部、法学部、経済学部、商学部、理学部、工学部、医学部(看護)、薬学部で実施します。			
	後期日程	人文、法、経済、商、商二(会計専門職プログラム含む)、理、工(電気工、電子情報工、 化学システム工、社会デザイン工、建築)、薬、スポーツ科	2月16日(火)～2月29日(月)	3月 6日(日)	本学(福岡) 広島 鹿児島
	スポーツ科学部 特別募集	スポーツ科	2月16日(火)～2月24日(水)	3月 3日(木)	本学(福岡)

※出願方法(インターネット出願・志願票による出願)によって、出願書類の提出期限が異なります。

七隈の杜 給付奨学金

七隈の杜 第3子以降特別給付奨学金

福岡大学への入学を希望する方に対し、経済的支援を行うことを目的として新たな奨学金を創設しました。

本奨学金は、一般入試の出願前に奨学金の申請を受け付け、審査の結果、採用候補者として認定された方に対し、入学後1年間の奨学金給付(返済不要)を事前にお約束する制度です。採用候補者は、一般入試に合格し入学後に所定の手続きをすることで正式に奨学生として採用されます。

入学前予約型給付奨学金

併給可

七隈の杜 給付奨学金

申請資格

- ・平成28年度一般入試^{※1}を受験する者
- ・父母の年間収入を合算した金額が、基準額^{※2}以下の者

申請期間

平成27年11月2日(月)～11月30日(月)

選考結果通知^{※3}

平成27年12月中旬に発表

奨学金額^{※4}

- ・文系学部30万円(商二部15万円)
- ・理系学部50万円
- [成績優秀者は特別増額あり]

支給時期

平成28年6月(予定)

採用候補者数
約2,000人

七隈の杜 第3子以降特別給付奨学金

申請資格

- ・第3子以降の者^{※5}
- ・平成28年度一般入試^{※1}を受験する者
- ・父母の年間収入を合算した金額が、基準額^{※2}以下の者

申請期間

平成27年11月2日(月)～11月30日(月)

選考結果通知^{※3}

平成27年12月中旬に発表

奨学金額^{※4}

30万円

支給時期

平成28年6月(予定)

採用候補者数
約1,000人

※1 一般入試(系統別日程・前期日程)・センタープラス型入試・大学入試センター試験利用入試(I期)のいずれかの入試制度

※2 給与・年金収入金額:700万円(課税前)、その他・事業所得金額:350万円

※3 家計状況について審査し、困難度の高い方から採用候補者を決定し、通知します。

※4 奨学金額は、一般入試の合格発表時(2月23日)に通知します。なお、初年度納入金相当額(委託徴収金除く)を限度とします。

※5 出生の早い者から順次に数えて第3番目以降の子ども

福岡大学公式ウェブサイト

詳細やその他の変更点については、「大学案内2016」または以下のウェブサイトでご確認ください。
<http://www.fukuoka-u.ac.jp/>
 (トップページ▶入試情報サイト)

福岡大学

検索

30年ぶりの全国大会優勝 初心者からトッププレイヤーに育てる 伝統が見事に結実



情熱の証



全国の強豪校を破り、堂々たる優勝を果たした男子団体。
スカッシュを通じて、全国にできる友人も財産

第二記念会堂裏のコートから、ボールが壁をたたく「バリン、バリン」という音が毎日のように聞こえます。スカッシュラケットは9・75m×6・4mの狭いコートで三面の壁を自在に使い、目まぐるしく攻守が入れ替わるタフな競技です。福岡大学スカッシュラケット部は、男子69人、女子53人の大所帯。部員のうちスポーツ科学部生は15%程度で、文系理系の

学生がバランス良く在籍しています。世界的にはメジャーなスポーツですが、九州地区にある大学でスカッシュラケット部があるのは福岡大学のみ。入部するまでスカッシュをしたことがなかったという人がほとんどです。それでも、本学の部員のように恵まれた環境の下で初心者でも練習次第で全国トップレベルへと成長することが可能なのです。

毎年12月に行われる「全日本学生スカッシュ選手権大会」の新人部門では常に入賞を果たし、2015年2月に横浜で行われた「第41回全日本学生スカッシュ選手権大会」の男子団体では、実に30年ぶりの優勝。その強さの理由を、主将の一人である柴田直希さん（学部4年次生）は、「何より練習環境に恵まれているから。学内に専用コートを備えているのは、全国的にも珍しいと聞きました。

ます」と説明。もう一人の主将の大村友浩さん（人文文学部4年次生）は、「新人育成に力を入れるのが部の良き伝統。部の創始者でもある山田悟監督の熱い指導に背中を押してもらいました」と付け加えます。試合中の、たった一球で戦局がガラリと変わることもあるため、肉体だけでなく、頭脳も常にフル稼働だそうです。山田監督は、懸命に練習に励む後輩たちを見守りながら、「持続力や、ピンチをチャンスに変える一瞬の判断力は、学業や社会に出た後の仕事にもきっと役立つでしょう」と、熱い眼差しを送っていました。

年間行事

4月 新入生歓迎週間
6月 部内新人ランキング戦

10月 九州学生スカッシュ選手権大会
12月 全日本学生スカッシュ選手権大会（新人戦・個人戦）

2月 全日本学生スカッシュ選手権大会（団体戦）

情熱の証

学術文化部会 音楽研究部

50年以上の歴史を持つ音楽研究部。その間の音楽史をたどると、ジャズ、邦楽、そして近年はボーカロイドなど、時代や社会を映す鏡のようにさまざまな表情を見せてくれます。部員たちは、そうした音楽を聴くだけでなく、研究の対象として大切にしてきました。流行の音楽は変わっても、常に変わらない部のモットーは「広げ合う」こと。部員それぞれが好きなジャンルやアーティストを研究し、その魅力を伝え合い、共感の輪を広げます。「その音楽の背景やエピソードを知れば、さらに興味が深まります」と語るのは、幹事の吉岡拓哉さん（経済学部3年次生）。部外への情報発信も大切にしており、邦楽、洋楽、ジャズ・クラシック、アニメソング・ボーカロイドの4班による研究を集めて、『ON-KEN TIMES』という音楽情報誌を毎月1回発行しています。単に音楽の情報を紹介するのではなく、自分たちなりの疑問点や意見を、自分たちの言葉で伝え、多くの人に興味を持ってもらえるように工夫しています。



『ON-KEN TIMES』では、話題性の高い旬な情報からマニアックな情報までを扱っている

日々、研究を発表する最大の舞台は七隈祭です。班ごとに研究した成果を模造紙にまとめ、部員による説明や音声ガイドを添え、来場者に音楽の奥深さを伝えます。昨年の七隈祭で実施したアンケートには、「子どもと一緒に楽しめた」「好きなアーティストの意外な一面を知った」「懐かしいジャズに時を忘れた」など、うれしい言葉が並びました。「七隈祭では、部員一人一人の『伝える能力』の向上を目標に研究発表を行いました。併せて、来場者一人一人に好きな曲を書いてもらい、『共感』の輪を広げることも意識しました」と吉岡さん。音楽を愛し、共に楽しみなながら、共感の輪を広げていく。そのような活動は、これからも響き合える仲間とともに続いていきます。

好きなジャンルやアーティストの 魅力を伝え合い、共感の輪を広げる



情熱の証

年間行事

4月 新入生歓迎週間

6月 学術文化祭

8月 夏季行事

11月 七隈祭

2月 春季旅行

仲間の充実した日々には
きっとあなたの将来の糧となる
ヒントが詰まっているはず。



法学部法律学科 4年次生
藤田 大輝さん

充実CAMPUS LIFE

対外試合に加えて街へ、地域へ、受験生へ 福大生の誇りを胸に、熱いエールを送る

法科大学院への進学を視野に 応援団の活動と勉強を両立

藤田さんの学生生活を象徴するキーワードが二つあります。一つは「応援団長」。1年次生の時、活動休止状態にあった応援団を14年ぶりに復活させて以来、団長として応援団を統率しています。

「高校時代、野球部の応援に団員として参加し、とても感激しました。それで大学では、本格的に応援団に入ろうと考えていました」と、当時を振り返る藤田さん。

入学後、応援団の活動休止を知って驚くと同時に、中学でも高校でも自ら手を挙げて生徒会長を務めた持ち前のチャレンジ精神に火が付き、「それなら自分が復活させよう」と立ち上がり、本学職員でもある応援団OBの後押しを助けて復活させました。

応援団の活動について、対外試合の応援にとどまらず、新しい応援の可能性に挑みたいと考えた藤田さんは、大学周辺の地域活動、博多どんたく港まつりへの参加、和太鼓愛好会とのコラボイベントなど、従来の活動の枠を超えた取り組みを積極的に展開します。「受験生を応援しよう」と、附属若葉高等学校に出向いてエールを送ったこともありました。

たった一人で始まった応援団は徐々に団員が増え、現在は総勢20人。今春は女子学生の団員

が誕生しました。「これで安心して後輩に団旗を託せます」と、藤田さんは満足そうに話します。

もう一つのキーワードは「法科大学院」。高校時代から法律の専門職を目指していた藤田さんは、入学当初から法科大学院への進学を意識し、応援団の活動に注ぐ情熱に勝るとも劣らない熱意を勉強に傾けています。

2年次の学部でのコース選択では、法曹の職に就くことを目指し、大学院進学や各種資格試験に備えて学ぶ法律総合コースにプレゼンスキルやレポート作成能力を鍛える科目を多く履修し、将来に備えています。

「4年間で書いたレポートを積み上げると何十センチもの高さに。勉強の成果を実感します」と藤田さんは笑顔で話します。

「応援団の活動を通して本学の歴史を学ぶうちに、戦争で焼けた図書館の復活のためにアルバイトを重ねた学生等、連綿と続く『母校のために力を尽くす福大生』の輪に、自分も加わりたいという思いが深まりました。志望校はもろろん本学の法科大学院。最終学歴には福岡大学の冠が不可欠です」と藤田さん。法科大学院の入学試験は9月。同じ頃、20年ぶりに応援団活動の集大成ともいうべき「演武会」が開催されます。藤田さんが「学生生活の充実度は120%、いや200%」と自己採点する濃密な毎日、4年間のラストスパークに向けて、さらに輝きを増しています。

好きな授業をピックアップ

専門教育科目

「政策特別演習Ⅰ」

廣澤 孝之 法学部教授

平成以降のわが国の政治が抱える諸問題を題材に、現代社会における主要な課題の解決に資する政策的アプローチを考察。グループ単位の積極的な議論を通じて、問題解決に向けた柔軟な思考力を養成します。

藤田さんの授業メモ

memo

議論、議論、また議論。活発なディスカッションを通じて、政策立案に必要な情報収集能力や論理的な思考力が鍛えられます。廣澤先生のアドバイスで新たな視点を得る場面も多く、刺激的な授業です。



応援の新たな可能性を具現した地域活動

防犯パトロールやもちつき大会などにも積極的に参加

「応援団の活動といえば対外試合の応援。そんな既成概念を超えた新たな活動を模索したい」と志した藤田さん。その代表例が、大学周辺の地域活動への参加です。「応援する対象はいろいろあつていい」という発想の下、まずは1年次生の時、本学の地域ネットワーク推進センターが行っている大学周辺校区の防犯パトロールに参加。パトロールには犯罪防止だけでなく、一人暮らしのお年寄りへの目配りなど、幅広い目的があることが分かりました。いわば地域そのものの応援です。「防犯パトロールは現在も全団員で、継続中。もちつき大会夏のそうめん大会など、地域イベントのお手伝いも積極的にを行っています。2015年5月16日に、60周年記念館内に開設された「地域交流



「もともと目立ちたがり屋なのかもしれません」と笑う



「地域交流サロン」のオープニングセレモニーにて、防犯パトロールなどの活動内容を報告



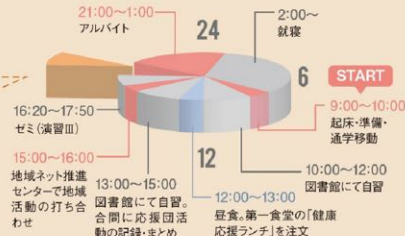
地元のテレビでも取り上げられた、応援団の再建に奮闘する藤田さんの姿を見て感銘を受けた視聴者の方からいただいた、カンパや激励のお手紙

藤田さんの1日 [授業と課外教育活動で充実している日の平均的なスケジュール]

18:00~20:00

応援団の練習は週3回短時間集中で 錬成する

練習は週3回。毎週のように対外試合の応援に出る4月~6月も不変です。「学業やアルバイトなど、練習日以外の時間を有効に使って自分の可能性を広げてほしい」と部員にも伝えています」と藤田さん。



研究室を訪ねて



「人」「出会い」「性」など、時代を映し出すテーマを研究しているため、研究者・学生を問わず、常に積極的に人と意見を交わし合うことを信条としている

「一点から線へ、線から面へと広げる」「恋愛」の研究

現代社会は恋愛依存傾向？
歴史を検証し哲学的視点から分析

人文学部 文化学科

宮野 真生子

准教授

有意義な反面、恋愛依存症に陥る危険性も
自分を見失わないバランス感覚が大切

「袖すり合うも多生の縁」と言いますが、2万人の学生が行き交う広大な福岡大学のキャンパスでは、同級生や先輩・後輩、部活の仲間など、毎日たくさんの出会いや縁が交差しています。近代日本哲学を専門とする宮野先生の研究テーマは、さまざまな縁の中でも特に「偶然性」と「恋愛」です。

学生時代の恋愛は、一人のひとと深く関わる体験を通して自分自身を見詰め直し、人間的に成長するためのチャンスだと先生は言います。現代は、FacebookやLINEなど、連絡ツールが多様化し、恋愛の仕方も様変わりしてきましたが、学術的な視点で見ると、時代を経て変わらないものもあるのか。先生は世間を騒がせるストーカー事件を例に挙げ、「誰かを好きになり、いっしょに思



「ドラマや映画化された人気コミックを授業の冒頭で紹介することで、共感を生まれるせいか授業中の議論も活発になります」と宮野先生。教材で使う作品を選ぶために、話題性の高い作品のチェックは欠かせないそうです
©矢沢漫画制作所/集英社

ど、あらゆる選択を自分で決めなくてはいいけない。自由には、プレッシャーが付きものである。スーパースターになれる人はほんの「握り」で、産業構造の効率化も進み、例えば、誰かがアルバイトや仕事を辞めても他の誰かが補う「交換可能」な構造になっています。対して恋愛は、誰かのオンリーワンになれて、自分の存在価値を確認できる。だから、依存してしまふ人が出てくるのです。楽しい反面危険な面も持っているのが恋愛です。このテーマについて深く思索し、時には仲間同士でディスカッションをする。そして、バランス感覚を身に付けてください」。

バーチャル化、同性婚など多様化する
恋愛模様について研究を深めていく

近年の若者は、恋愛離れの傾向が見られると指摘した先生。その原因の一端は、漫画やゲームなど、恋愛のコンテンツがリアルばかりが充実し過ぎたことにあると分析します。「ドラマや映画のような恋愛が普通だと勘違いしてしまい、現実の世界で恋愛すること」に恐怖心が生まれ、消極的になってしまつたのでしょうか。情報があふれ過ぎる現代の弊害かもしれません。恋愛への興味や入り口は変わらぬのに、深く知っていくことの楽しさや別れのつらさなどのリアル感が薄くなり、なだらかに恋愛の在り方が解体していついっとなるかと言います。また「自分をしっかり持たなくちゃ」「恋愛にはしんどいことが多い」などの固定観念を持つ人も多いようです。しかし、自



「学生チャレンジプロジェクト」で採択された本学の学生が主催した、性の多様性を尊重しようと呼び掛ける「レインボーパレード」に参加



九州産業大学の先生と合同ゼミを開催し、グループディスカッション。この日のテーマは、「性について」。県外からも多くの大学生が参加した

分が変わることは決して悪いことではありません。誰かの影響で世界や興味の範囲が広がり、自分自身をブラッシュアップさせることも恋愛の醍醐味の「一つなのです」。

先生の授業では必ず、冒頭で恋愛コミックの1シーンを取り上げます。それを入り口に「恋をしたら人はどんな表情や気持ちになるか」「誰かといると時々煩わしい気持ちになるのはなぜだろうか」「学生同士のディスカッションへと導きます。大学時代は恋愛に限らず、悩むべき時代ではないでしょうか。私自身、大学時代は人との関係づくりについて大いに悩みました。モヤモヤとした無形の悩みを言葉にして明確化できる哲学に救わ

現代の「良い恋愛」とはバランス感覚

現代の恋愛傾向

誰かがいなくなっても他者で補える交換可能な社会構造のため、オンリーワンになれる恋愛に依存しやすい。ゲームや漫画などをはじめ、恋愛のコンテンツが増え情報が過多になり、現実では恋愛に消極的な人も増えている。

理想の恋愛像

相手をいっしょに思い過ぎる自分中心の状態や、人の目ばかりが気になる他人中心の状態を避け、バランス良く真ん中に立つことが自分の成長を促す恋愛の理想。

合同ゼミなどにも積極的に、「熱く、激しい議論を繰り広げたい」と意欲を見せてくれました。

研究室で発見!

先生モノがたり

「熱くて美しいエキサイティングがある」広島カーブの大ファン。
月に1度は球場へ足を運ぶ

幼い頃から野球が大好き。そんな宮野先生が応援しているチームは、広島カーブ。ファンクラブにも入っていて、今もシーズン中は月に1度、広島に試合観戦に行きます。「野球も偶然性の重なるのスポーツなので、何が起るか分からないドキドキ感と臨場感がたまりません。時折見る、奇跡のようにエキサイティングなプレーには、美しさを感じます」と興奮気味に語ってくれました。好きな選手は、菊池涼介選手。スピード感あふれる走攻守に魅了されているそうです。ファンクラブの会員限定で手に入る今年の限定ユニフォームが、研究室に飾ってあります。



スポーツを「体と心をつなぐ教材」と捉え 実技を楽しみながら人間力を磨く

共通教育科目 保健体育科目
生涯スポーツ演習Ⅲ

勝敗や技術の優劣を競う競技スポーツとは一線を画し、ユニークなスポーツと呼ばれる種目を中心に多彩なスポーツを実体験。運動を通じて「考える力」「行動する力」「協働する力」など、幅広い人間力の養成を目指します。

さまざまなスポーツを通じて
コミュニケーション力を体得

第一記念会堂二階のバドミントンコートに、直径122cmのビニールボールが運ばれてきました。この日の授業で実践する「キンボール」用のボールで、重さは一キロと見た目ほど重量はありませんが、とても一人では扱えない大きさです。

「生涯スポーツ演習Ⅲ」は、体力向上のみならず、集団における個人の役割や責任、他者とのコミュニケーション能力の育成も視野に入れた体育の実技科目。担当の森村和浩先生は「勝敗や技術の修練だけがスポーツの目的ではありません。この授業を

通じて学生に身に付けてほしいのは、体を動かしながら考え、考えたことを行動に移し、チームメイトと力を合わせてより良い成果に結び付ける力。例えばキンボールはこうした「人間力」を磨くのに適したスポーツの一つです」と説明します。

キンボールは、「共遊」「主体」「創造」をコンセプトとしており、4人1組の3チームで行うバレーボールのようなスポーツ。各チームは緑、青、ピンクなどで色分けされ、ヒット権を持ったチームが「オムニキン、ピンク」というように大きな声でターゲットとなるチームを指定してボールを打ち、指定されたチームがレシーブに失敗すれば得点。これが基本ルールです。

攻撃チームに求められるのは、扱いにくいボールをヒッター以外の3人が支え持つてセットするスピードとヒット時の素早い観察力と判断力。守備チームでは、どの方向に打たれてもレシーブできるフォーメーションを敷く連携が求められます。個々の考える力とチームワークが必要となるキンボールには、まさしく「考える力」「行動する力」「協働する力」を磨く要素が随所にちりばめられています。全15回の授業で

は、このキンボールをはじめ、フリスビーを用いる「アルティメット」、リンク不要のホッケー「ユニホック」や「創作スポーツ」など、競技性より協調性重視で、生涯スポーツ向きの種目を多く取り入れています。

ゲームに先立つチーム分けの際も「極力、別の学科の学生と組むよう、呼び掛けています。初対面の相手と上手にコミュニケーションを深めることも、授業の狙いの一つです」と森村先生は強調します。

体を動かしながら考え
臨機応変の対応力を養う

各自、それぞれのチームカラーのゼッケンをつけ、いよいよゲーム開始。当初は各チームとも動きが硬く、ボールのセットに手間取る場面や、コートの片側にスペースをつくってしまい簡単に得点を許すケースが続出。やがて自然に声を掛け合い、目配せで指示を出し合うシーンが目立ち始めるにつれ、徐々に硬かった表情も和らぎ動きが滑らかになってきました。

「試合中は時折声を掛け合って」「どこに打つのか?」「どこにどう動けばいいの?」



ヒッター以外の3人は素早くボールを支え、攻撃の準備。守備のチームは瞬時に的確なポジションを判断。考える力と協働する力が楽しみながら身に付く



チームごとに同じ色のゼッケンをつけて団結力も高まる



準備運動もコミュニケーションが大切



全員が動画を用いたルール説明に集中

く考えて」「フィールドやチームメイトの動きをよく見て判断して」などのアドバイスをする程度で身体運動を通じて自然と生まれる自主性やコミュニケーションを大事にしています。留意しているのはみんなが参加意欲を持つこと。ボールが扱えないなど「ゲーム」にうまく参加できない学生が目立つ場合にはみんなが参加できるようにルールを随時変更したり、学生自身に考えさせて新たなルール、スポーツ作りを行うこともあります。「この日は学生たちの判断、行動、協働がうまく成り立って進行できていたため、最後まで先生からルールの変更が行われる場面はなく、全員が笑顔で和やかな雰囲気の中にゲームが終了しました。

授業後、先生は学生たちの将来への期待を込めて、こんな話をしてくれました。

「社会では、初対面の人とも意見を交わし、その場でコミュニケーションを深めなければならぬこともあります。会社の会議、取引先との交渉、地域の生涯スポーツに参加する際も同様です。もちろん在学中も、ゼミやグループワークのように、コミュニケーション力が問われる授業が多くあります。そうした際、このスポーツ演習で培った『考える力』『行動する力』『協働する力』が支えになることもあるでしょう。何より、体を動かす楽しさはやはり格別。授業後の学生たちの爽やかな表情がそのことを雄弁に物語っています。まずは思い切りスポーツを楽しんでほしい。将来につながるプラスアルファの力は、後から自然についてきます」。

Students' voice

他学科の学生とすぐに打ち解け
一緒に作戦を練って実行するまでに

理学部 応用数学科 2年次生 荒木 翔太さん

1年次に「生涯スポーツ演習Ⅰ・Ⅱ」を履修した後、スポーツをする機会がなくなり、やはり週に一度は思い切り汗を流したくて履修しました。授業で行うニュースポーツの種目はどれも初体験で、毎回わくわくします。今日のキンボールの試合では初対面の学生とチームを組みました。一緒に体を動かすと、すぐに打ち解けることができ、後半ではその場で素早く作戦会議も。このコミュニケーション感覚をゼミでのチーム研究にも役立てたいです。



My Teaching style

授業を一つのきっかけとして
心と体をバランス良く鍛える習慣を

森村 和浩 スポーツ科学部 助教

私の研究テーマは「子供の健康づくり」。小学生を対象とした調査で、運動量と学力は、互いに影響し合うことが分かっています。また「鉄は熱いうちに打て」と言いますが、運動する習慣は、その取り掛かりが早ければ早いほど定着しやすいという調査結果も出ています。学生の皆さんにはぜひ、授業を一つのきっかけとして、スポーツを楽しむ機会を増やし、体を動かす習慣を身に付けてほしいと思います。



社会の第一線で活躍し、
時代を駆ける先輩たち。
その軌跡に迫ります。

時代を駆ける 先輩たち

アサヒビール株式会社 博多工場
パッケージング部 部長

荒谷 清司さん

【工学部機械工学科 1993年卒業】



アサヒビール社内に全国で8人しかいないパッケージング部長の1人、自分を部長の監督に例え、それぞれの味を引き出したチームワーク強化を目指す。目標はエースと4番だけでなく投手まで。

一人一人の人間性を認め合うチームワークで 鮮度抜群のビールを日々提供する

「私は、管理というニュアンスとは違うかたちで、部下と向き合っていたい」

応接室に現れたのは、プロ野球のキャッチャーを思わせる体格の方でした。たくましく、元気にあふれ、それでいて物腰は柔らかく、まなざしは優しく。「荒谷です。よろしくお願いします」と名刺を差し出す

声には、温かみがあります。アサヒビール株式会社は1889年創業の総合酒類メーカー。酒類・飲料・食品等の総合企業であるアサヒグループホールディングス株式会社の中核を担っています。アサヒビールは日本各地に8つのビール工場を有しており、博多工場は九州・広島西部地方、さらに韓国への輸出も一部担っています。荒谷さんは、この博多工場パッケージング部のアサヒ社員39人、協力会社約80人を超える社員を統括する部長です。「統括、とは少し意味合いが違うかもしれませんが……。そういう言いながら、パッケージング部の具体的な仕事を説明してくれました。

工場では、ビールの原料に水を加えて「麦汁」を仕込み、それにビールの酵母を加えて発酵・熟成させます。それをろ過し

てできたのがビールで、そのビールを缶や瓶、樽に詰めるのがパッケージング。「衛生管理が行き届いたフイラー（充てん）ルームで、容器内にある酸素を追い出しながら液を詰めることでビールの酸化を防ぎ、鮮度を保たせます。その後、缶ビールならシーマーという機械で缶に蓋をして密閉し、容器に印字やラベルを施し、検査を経て、ケースに詰めて出荷。アサヒビールの安全・安心品質と鮮度を担う最後の工程がパッケージングなのです」。円滑に、効率良く生産し、しかも製品の安全や鮮度を保つ生産管理と同時にパッケージングマシンの維持管理・改善を行う日々。荒谷さんは、この工程のリーダーを担っています。

「先ほど、統括とは少し意味合いが違うと申しました。統括は「一つにまとめる」という管理的な感じがします。私は、管理というニュアンスとは違うかたちで、部下と向き合っていたのです。一人一人の個性を大切に、それら一人一人の考えを認める。そして、つないでいく。つながりをチーム力に高めていく。そう語る荒谷さんのバックボーンは、福岡大学での日々にあります。

新商品がお客さまの手元に届くまで

本社

市場調査、研究開発、
販売計画・生産計画の立案など

↓ 工場で実際に製造へ

STEP.1 原料

STEP.2 仕込

STEP.3 発酵・熟成

STEP.4 ろ過

STEP.5 パッケージング

STEP.6 出荷

「多くの人との交流は、眠っていた自分の可能性や資質を引き出してくれた」

少年時代からプラモデル作りが大好きだった荒谷さん。長じてモノづくりに興味を持つようになり、福岡大学工学部機械工学科に入学しました。「附属大濠高校（当時は男子校）出身で、大学は男子学生の比率が高い工学部。あまり女子学生とは縁がなく、

いつも同じ仲間と過ごしていました」と苦笑しながら振り返ります。福岡大学は工学部だけでなく6学科。さまざまな個性や考えを持つ学生や教員が集まっていた。例えば、新しいモノの開発に対する視点も、機械系、電子系、化学系それぞれで異なります。そのような異見をそれぞれの「見解」として素直に耳を傾けることで、機械工学という視点だけでは気付かなかったこ

とが理解できるようになり、情報が多面的に把握できるようになったそうです。「新たな発見、新たな発想は、そんな経験の積み重ねから生まれるのだと思います。多くの人の交流は、眠っていた自分の可能性や資質を引き出してくれました。今から思えば、刺激にあふれた大学時代でした」。

また、学科での学びは生涯の財産だと荒谷さんは言います。「例えば、ビールを次の工程へ移動させるためのポンプの設計。基礎で学んだ計算式が大変役に立ちました。応用はもろろん、学んだ知識や技術がそのまま生かせるのです。グループ実習や実験で、学友たちと時に激しくディスカッションを行うこともありました。「聴く、伝える、分かり合う。コミュニケーションの重要性や方法を実践的に学びました」。

「明るくてオープン。そして人に優しい会社」

やがて就職活動の時期。荒谷さんは、自動車業界や機械関連の職種を希望していました。



「おかげさまで左右の銘。『何事も皆さんの協力があるからこそ、感謝のメールには必ずこの言葉を書くようにしています』

ある時、工場の現場から新しい機械の導入を要望されました。現場からのニーズを十分に聞き、機械製造の外注先にその内容を正確に伝えたつもりでした。ところが納品された機械は、現場のニーズとも、自分の伝えた内容や仕様とも違うものでした。幸い、その後の対応が速かったために大事に至らずに済みましたが、荒谷さんにとっては痛恨のミスでした。激しい叱責を覚悟して上司の前へ。意外にも静かな口調で、こう言われました。「今回の自分の行動と、その結果をじっくりと振り返ってこらん」。

「今回の自分の行動と、その結果をじっくりと振り返ってこらん」

ある時、工場の現場から新しい機械の導入



入を要望されました。現場からのニーズを十分に聞き、機械製造の外注先にその内容を正確に伝えたつもりでした。ところが納品された機械は、現場のニーズとも、自分の伝えた内容や仕様とも違うものでした。幸い、その後の対応が速かったために大事に至らずに済みましたが、荒谷さんにとっては痛恨のミスでした。激しい叱責を覚悟して上司の前へ。意外にも静かな口調で、こう言われました。「今回の自分の行動と、その結果をじっくりと振り返ってこらん」。

「リーダーシップとは、部下の能力を十分に引き出す事である」

エンジニアリング部門で12年。そしてパッケージング部門に移り10年。その間、大阪の吹田工場、四国工場などで勤務し、約6年前に博多工場へ。「ようやく故郷に



卒業式当日、仲がよい仲間たちと。右下が荒谷さん

戻ってきました」。それから4年後、荒谷さんは大きな責任と抱負を胸にパッケージング部門の部長に就任します。「パッケージング部門の使命は、より品質の良い商品をより安く効率的に安定して供給すること。缶ビールであれば一分間に1500本製造されますが、お客さまにとっては手に取った1本がアサヒの品質です。安全性は、食品メーカーの一番の要です。営業が自信を持って商品を提案できるのは、最高の品質の商品を安定供給できるという安心感が、その背景にあるからです」。部長としての最初の目標は、この認識をみんなにあらためて浸透させることでした。パッケージング部門は社員39人に、協力会社の80数人を加えた120人以上。認識の共有を徹底させるのは容易ではありません。

2014年の年初には、工程面での小さなトラブルやケガなどの事故がありました。荒

谷さんは、この危機をチャンスと捉え、事あるごとにみんなに伝えます。「作業者の安全、食の安全、供給責任の遂行を生産活動のベースとし、最高品質のおいしいビールをお客さまにお届けする。この目標を達成するためにはどうしたらいいかを、みんなで考えていきましょう」。分かりやすい目標を掲げ、達成のための一人一人のプロセスを大切に。怒らない、抑え付けない、型にはめない。「それから、日々の声掛けをより徹底するようになりまし」と荒谷さんは付け加えます。

元氣か？ 昨日はちょっと調子悪そうだったね？ 上司の声掛けは、部下を個人として認め、尊重しているという意思表示なのです。こうして事故はなくなり、2015年4月22日現在に至るまで無災害の日が続いています。福岡大学で養い、仕事の現場で磨き上げた荒谷流のリーダーシップが、一つの成果を挙げました。アサヒビール中興の祖と称される樋口廣太郎氏は、自らの経験を基に編んだ「管理職十訓」の中でこう述べています。

「五、リーダーシップとは部下を管理する事ではない。発想を豊かに持ち、部下の能力を存分に引き出す事である」

「七、人間を個人として認めれば、若い社員が喜んで働ける環境が自ら出来る」。それぞれの持ち味がつながって線になる。チームワークで勝つ」

アサヒビールの社風は「明るくてオープン。そして人に優しい」。自分の性格にも、そんな自分を育んだ福岡大学にも共通していると言う

荒谷さんは働き盛りの44歳。社内における使命や責任は、ますます大きくなっています。そうですね、とうなずきな

管理職十訓(著:樋口廣太郎)より

- 一、組織を活性化しようと思ったら、その職場で困っている事を、ひとつずつつぶしていけばよい。人間は、本来努力して浮かば上がろうとしているのだから、頭の上でつかえているものを取り除いてやれば自然と浮上するものだ。
- 二、職位とは、仕事の為の呼称であり、役割分担を明確にする為にあるものだと考えれば、管理とは何かがキチンと出てくる。
- 三、「先例がない」、「だからやる」のが管理職ではないか。
- 四、部下の管理はやさしい。むしろ上級者を管理する事に意を用いるべきである。
- 六、「YES」は部下だけで返事をしてもよいが、「NO」の返事を顧客に出す時は、上司として知っていなければならない。
- 八、若い人は、我々自身の鏡であり、若い人がもし動かないならば、それは、我々が悪いからだと思わなければならない。
- 九、若い人の話を聞くには、喜んで批判を受ける度量が必要である。
- 十、結局職場とは、人間としての切磋琢磨の場であり、錬成の為の道場である。

※五、七は本文中に記載。

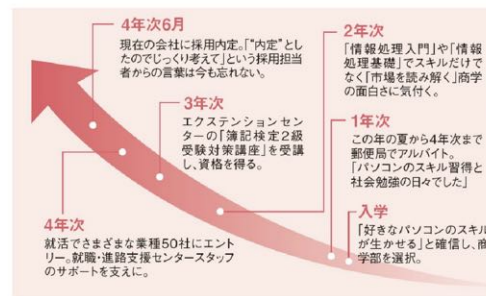
さまざまな職場で働く
若き先輩たちの貴重な言葉が
就職活動を後押ししてくれます。

就活だけでなく今の仕事にも活用 福大仕込みのチェック&サポート

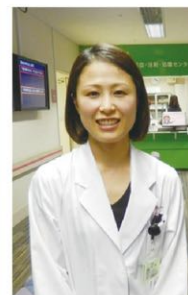
ヤマエ久野株式会社 酒類福岡支店 経理課
山下 佳裕 さん(商学部商学科 2011年卒業)



就活サクセスチャート



書類や数字を綿密にチェックし、営業担当者をきめ細かくサポートする福岡を中心とした卸売業の経理課に勤務する山下さん。主な業務は取引先の売掛入金処理です。対応する取引先は量販店からスーパー、町の酒屋さんなど多岐に渡ります。「私の担当処理は銀行振込の取引先になります。金額の多寡にかかわらず、大きな責任を感じます」と表情を引き締めます。営業担当者から回ってくる書類の金額が1桁違えば、大きな責任問題。金額はもとより、そのトータルで営業先から信頼を失うことが数字以上に重大になります。山下さんの仕事におけるモットーは「チェック&サポート」。営業担当者が窮地に陥らないように、書類に記載している品目や数字を綿密にチェックし、万が一の場合はずす連絡しきめ細かくサポートする。「ありがた助かった」と営業担当者から言われると本当にうれしい。その瞬間が経理マンとしての生きがいです。営業と経理の固い信頼関係が、取引先と会社の強い絆につながる。そのことを山下さんは自覚しています。



独立行政法人 国立病院機構 九州医療センター 薬剤部
牛島 知実 さん(薬学部薬学科 2012年卒業)

実習重視のカリキュラムで 臨床薬剤師という進路が見えた

600種以上の薬剤の効能等を
患者さんに分かりやすく説明

九州全域を診療対象にした高度総合医療機関の薬剤部で臨床薬剤師として勤務する牛島さん。現在は血液内科を担当しています。具体的な業務は、患者さんが服用する薬剤の説明や、薬を処方どおりに服用しているかのチェックなどです。「血液内科では白血病やリンパ腫などを対象とする、いわゆる抗がん剤を扱います。患者さんの生命に関わる病気であり薬剤ですから、大きな責任を感じています」と話す牛島さん。取り扱う薬は600種以上。その全ての効能や処方、副作用に至るまでを理解していなければ、患者さんへの適切な説明や処方チェックはできません。「2つ以上の薬を服用するケースでは、相互作用をチェック。不都合な副作用の可能性がある場合は医師に助言することもあります」。新薬の勉強や、病院で取り扱う「注射薬」の研究にも励む牛島さん。臨床薬剤師を志したきっかけは、大学の学びにありました。

就活メモリー

福大での学び
そして福大からの教えと支援は
自分の生涯のバックボーン

「チェック&サポート」というモットーの源は福岡大学でのキャンパスライフです。「正課授業での学びを中心に、さまざまな場面で私という人間を客観的にチェックできた4年間でした。それだけでなく成長のためのサポートもしていただき、具体的な例として挙げたのが、ゼミでの学外活動。中学生の学習支援サポート活動を通じて「個性の違う一人一人の思いを察知し、その思いに沿って自分の考えを伝える」方法を学んだとか。「コミュニケーション法は、仕事にも役立っています」。また、就活にも活用できる簿記検定などの資格はエクステンションセンターで、徹底的な目

己分析や面接のノウハウなどは就職・進路支援センターで学びました。「スキルだけでなく、基本となる心を磨いていく。自分を高める。スタッフの皆さんからの教えと支えは、決して忘れません」。山下さんのこれからの目標は、経理を軸に財務や総務的な仕事も覚え、大学で培った「チェック&サポート」能力をさらにパワーアップさせることです。



就活アドバイス

就職活動は自分が知らなかった世界や社会を実際に見ることができ貴重な機会です。できるだけ幅広く多くの会社を見て、社会に出るための蓄えを積み上げていきましょ。その中に自分に合った職が見つかるはずですよ。

先輩たちが残した資料で勉強
学部ネットワークが強い支えに

牛島さんは5年次に「実務実習」を受けました。病院の実務を実体験する中で、患者さんと向き合っている話し合うことや、病院という現場でチーム医療の重要な一員として働くことにやりがいを感じて、臨床薬剤師という進路を選んだのです。それからは薬剤師国家試験の勉強と並行して就職活動。「学部には進路相談を担当する先生がいて、病院の情報はもちろん、自らの病院勤務体験を交えて、丁寧に指導していただきました。また、病院に就職した先輩たちが過去の採用試験についての情報を多く残しており、とても役に立ったと言います。「同業で活躍する多くの先輩たちがい



就活アドバイス

インターネットからの情報は、現場の雰囲気や空気感までは伝えられません。私は採用試験を受ける病院を実際に見に行くようにしていました。「百聞は一見に如かず。これはどの職種にも言えることだと思います」。

INFORMATION

就職・進路支援センター からのお知らせ

就職・進路支援センターでは、学生の皆さんにさまざまな支援行事を準備しています。積極的に参加してください。

6～12月の行事予定

全学年対象

- 9月
 - 教員採用試験ガイダンス
- 11月
 - 女子学生のための就職支援セミナー
- 12月
 - 業界研究セミナー
 - 東京駐在員との就職情報交換会

4年次生・大学院2年次生対象

- 6～12月
 - 就職フォローガイダンス
 - 学内合同企業説明会

3年次生・大学院1年次生対象

- 8月
 - インターンシップ
- 10月
 - 第2回就職ガイダンス
 - 就職実践マナーセミナー
- 11月
 - 1日で自己PRから履歴書が描けるようになるセミナー
 - 学生アドバイザーとの就職なんでも相談会
 - 学生アドバイザーによる個別相談会
 - 公務員採用試験ガイダンス
- 12月
 - 第3回就職ガイダンス
 - 集団模擬面接
 - グループディスカッション対策講座

1・2年次生対象

- 8月
 - インターンシップ

支援行事日程や詳細については、FUポータルや学内掲示、就職・進路支援センターのウェブサイト、Facebookで確認してください。

就職活動専用の「サテライト」を
東京と大阪に開設しています。

- 東京サテライト
東京都新宿区西新宿1-22-2
新宿サンエビル1F
- 大阪サテライト
大阪市北区堂山町3-3
日本生命梅田ビル7F

【就職・進路支援センター公式ウェブサイト】
<http://www.career.fukuoka-u.ac.jp>



HALを開発した山海嘉之先生(筑波大学教授)と井上先生は20年余の知己

にミカンを口に運べるまでに回復。「次はコップを持てるように」と、さらに意欲的に取り組んでおられます」とうれしそうに話す井上先生。「もう一度歩きたい、もっと腕を動かしたい。そうした前向きな意欲を持った患者さんを一人でも多く支え

られたら」と、医療スタッフの総意を代弁します。総合大学の福岡大学だからこそHALの可能性がさらに広がる

本センターは多様な学部学科を擁する福岡大学と、多様な診療科を有する福岡大病院の特色を生かした幅広い研究活動の拠点でもあります。「心臓一

体」という言葉があるように、心臓疾患と脳疾患は血管を介して密接な関連があります。本センターでは脳卒中など脳血管疾患による運動器リハビリと並行して、心機能のリハビリにHALを活用する研究も行っています。



HALを開発したサイバーダイナミクス社も福大の活動に注目。同社を率いる山海嘉之先生(左から2人目)もしばしば視察に訪れる

福岡・アジアロボティクスリサーチ & HALリハビリテーションセンターを開設

福岡大学病院 福岡・アジアロボティクスリサーチ & HALリハビリテーションセンター

脳卒中や脊髄疾患など、手術後、半年以上を経過した慢性期の患者さんを対象に、運動支援ロボットHALによる身体機能回復治療を行うリハビリテーション施設。臨床現場の要望を新型HALの開発に生かす研究活動も担います。

急性期リハビリの豊富な知見を慢性期リハビリに生かす拠点

2015年4月1日、福岡大学病院に開設した「福岡・アジアロボティクスリサーチ & HALリハビリテーションセンター」は、さまざまな活動や研究を行い、再生医療の新たな可能性に挑む医療施設です。「HAL (Hybrid Assistive Limb)」とは、装着した人の意思に従って動作支援を行うロボットです」と話すのは、本センターの運営を統括する脳神経外科診療部長の井上亨先生。

「装着者が手や足を『動かしたい』と思った時に発生する脳からの微弱な生体電位信号をHALが読み取り、これを国内で前例のない研究です」と、井上先生は胸を張ります。スポーツ科学部との連携も進んでいます。アスリートのケガからの早期回復や運動機能強化にHALを活用する実証実験のほか、同学部の授業の一環でHALによるリハビリの見学を行うプランもあります。

また、HALの研究・開発しているサイバーダイナミクス社と密に連携することにも欠かれません。「2011年の実証実験開始以来、臨床現場の要望を折に触れて伝え、HALの開発・改良に生かしていただいています。現在も、肘を動かす「関節HAL」の発想を指の関節に応用し、指の機能回復を支援する新しいHALの開発が進行中です」。

同社では2015年3月にHALの保険適用申請を行っており、早ければ今年中にも認可される見通し。そうしたなかでも本センターには、例えば「もう一度歩きたい」という夢をかなえるため、国内はもちろん、福岡に近いアジア各国から、より多くの患者さんが訪れることになるでしょう。「その時は、福岡大学で学ぶ各国からの留学生に通訳をお願いすることもありますが、通訳がなくても笑み井上先生、再生医療と地域医療の未来へ向けて、本センターの挑戦が続きます」。



患者さんにプレゼントしている絵葉書は、本学美術部の学生が描いたもの

取り、動作を助けます。この動きを繰り返すうちに、脳が動作を学習し、身体機能の自立的な回復を促す仕組みです」。

その画期的な機能と可能性に着目した本病院脳神経外科では、いち早く2011年からHALを手術後にも急性期リハビリ患者の下肢(後にも上肢も)のリハビリに活用。これまでに140例以上の治療データを蓄積し、それを基に発表した論文は国内外で高い評価を得ています。HALを用いた先進的な急性期リハビリの成果を、手術後、半年以上経過した慢性期の患者さんにも役立てたい。その熱意が、センター開設の原動力になりました。

本センターには、脳神経外科の井上先生をはじめ、リハビリテーション科、循環器内科、神経内科の計9人の医師が在籍。HALトレーナーや理学療法士といった多数の医療専門職員と連携して、さまざまな慢性期リハビリの症例と向き合っています。「脳梗塞の手術後、右腕が5年間も麻痺したままだった患者さんは、上肢用HALを用いた治療で短期間

密度の高い実践を通じて最先端のリハビリ医療を学ぶ若き医療人たち

本センターには、HAL専門トレーナーや理学療法士として勤務する傍ら、本学大学院でリハビリ医療や運動生理学を学ぶスタッフが多数在籍しています。本センターがHALによるリハビリを通じて再生医療の新たな地平を切り開いていくように、彼らもまた「医療人としての高みを目指して努力を重ねています。その一人、理学療法士の資格を持つ吉村咲紀さんは本学大学院スポーツ健康科学研究科で学ぶ大学院生。他にスポーツ科学部出身のHAL専門トレーナーも活躍中です。こうしたスタッフ構成にも多様な学部学科を併せ持つ本学の特徴が見て取れます」。



脳神経外科医の瀧田晴美先生(右)、理学療法士の福岡宏幸先生(右から2番目)、HAL専門トレーナーの重松智子先生(右から3番目)、大学院生の吉村咲紀さん(左)

〈平成27年度〉福岡大学特待生

学生生活を支援する 奨学・特待生制度

一人一人の充実した学生生活のために
福岡大学は独自の支援制度を設けています

福岡大学は、本学独自の奨学制度を設けています。学びに対する前向きな意志、優れた能力を持つ人材が、経済的な理由によって修学を諦めるのは悲しいことであり、本学にとっても大きな損失です。また、これから福岡大学へ入学するという夢を持った受験生の皆さんが、同じような理由で志を捨ててしまうことのないよう支援していきます。福岡大学の奨学金は返還義務のない「福岡大学給費奨学金」と、返還義務がありますが無利子の「福岡大学奨学金」があります。さらに、今年度からは「福岡大学有信奨学金」・「新入生を対象とした入学前予約型給付奨学金」・「七隈の杜 給付奨学金」および「七隈の杜 第三子以降特別給付奨学金」を創設しました。入学前予約型給付奨学金については11頁を参照ください。

さらに本学では、特に優秀な学生を表彰する「福岡大学特待生制度」も設けています。約2万人の在学生の中で特待生に選ばれることは大変栄誉なことです。日々の努力次第で、誰にでもそのチャンスはあります。そして、この栄誉に挑んでください。

福岡大学特待生制度

学業成績ならびに日々の行いが特に優秀な学生を「特待生」として表彰する制度です。特待生に選ばれることは学生としてこの上ない栄誉であり、その栄誉を称えて奨学金（30万円）。ただし、商学部第二部は15万円が授与されます。特待生は全学部から約200人が選ばれます。努力次第でそのチャンスは誰にでもあります。

福岡大学独自の奨学制度

奨学制度の種類別	福岡大学給費奨学金（一）	福岡大学給費奨学金（二）	福岡大学利子補給奨学金	福岡大学有信奨学金	福岡大学奨学金（貸与）	福岡大学奨学金（緊急貸与）
支給形態	給付	給付	給付	貸与（無利子）	貸与（無利子）	貸与（無利子）
趣旨および資格	人物・学業成績ともに優秀でありながら、経済的な理由で学業継続に支障をきたすおそれのある学生を援助し、優れた人材育成を目的とする制度です。	課外教育活動において、極めて特異な能力を有し、かつ、優れた業績を示した者を育成する制度です。	本学が提携する金融機関の教育ローンに借入している者に、在籍期間中の利子相当額の全部または一部を給付する制度です。	学部卒業見込みの原級歴のない最終学年次生であり、卒業単位まで20単位未満の者。	人物・学業成績ともに優秀でありながら、経済的な理由で学業継続に支障をきたすおそれのある学生を援助し、優れた人材育成を目的とする制度です。	家計支持者の失業、死亡その他の理由により家計が急変し、修学が困難になった場合の緊急の貸与制度です。
出願時期	4月中旬	12月	12月下旬	4月中旬	4月中旬	随時出願可能
給付・貸与内容	文系30万円、理系50万円、ただし商二部は15万円 単年度採用	60万円以内 単年度採用	5万円以内 ●医学部医学科 10万円以内	期間：1年間 50万円を限度に支給	年間64万円を限度 単年度採用	年間64万円を限度 単年度採用
返還義務の有無	なし	なし	なし	卒業後10年以内で返還	卒業後10年以内で返還	卒業後10年以内で返還
2014年度採用実績	207人	4人	27人	新設	291人	1人

特待生制度、給費奨学金、貸与奨学金の採用者は合わせて約740人で全国でも有数の規模となっています。

福岡大学以外の奨学制度

奨学制度の種類別	日本学生支援機構 「第一種奨学金（無利息）」	日本学生支援機構奨学金 （緊急）	日本学生支援機構 「第二種奨学金（有利息）」	日本学生支援機構奨学金 （応急）	各種育英会・奨学団体 奨学金
支給形態	貸与（無利子）	貸与（無利子）	貸与（有利息）	貸与（有利息）	給付・貸与あり
趣旨および資格	特に優れた学生で経済的理由により著しく修学に困難がある者。別に定める貸与基準（学力・家計・人物・健康）を満たすことが必要。	家計支持者の失業、死亡その他の理由によって家計が急変し、修学が困難になった場合の緊急の貸与制度です。	優れた学生で経済的理由により著しく修学に困難がある者。別に定める貸与基準（第一種奨学金より緩やか）を満たすことが必要。	家計支持者の失業、死亡その他の理由により著しく修学が急変し、修学が困難になった場合の緊急の貸与制度です。	地方自治体や民間育英団体による奨学制度です。詳しくは学生課にお問い合わせください。
出願時期	4月中旬	随時出願可能	4月中旬	随時出願可能	—
給付・貸与内容	自宅通学者は月額3万円または5万4千円、自宅外通学者は月額3万円、5万4千円、または6万4千円。貸与開始：4月 貸与期間：標準就学年限を限度（学部および医学部医学科は6年、その他の学部・学科は4年）	貸与額は第一種奨学金と同じ。貸与開始：12月1日以内に家計急変の生じた月まで遡及可能。貸与期間：卒業予定期（毎年継続）	月額3万円、5万円、8万円、10万円、12万円から選択。月額12万円を選択した場合に限り、医学部医学科生は4万円、薬学部生は2万円の増額を希望することができます。貸与開始：本人の希望月 貸与期間：第一種奨学金に準じる。	貸与額は第二種奨学金と同じ。貸与開始：12月1日以内に家計急変の生じた月まで遡及可能。貸与期間：第一種奨学金に準じる。	—
返還義務の有無	あり	あり	あり	あり	—
2014年度採用実績	272人	1人	378人	4人	62人

※これらの奨学金は応募条件等がそれぞれ異なります。事前に内容の確認をしてください。

人文学部

文化学科

植田 舞香
坂ノ上 香子
高橋 佳純

歴史学科

岡松 聡子
川邊 貴伸
洲 ちひろ

日本語日本文学科

鹿毛 祐奈
津山 史織
安岡 祥

教育・臨床心理学科

白谷 美紗樹
武田 結明
三木 咲喜子

英語学科

大茂 里帆
武久 拓樹
野中 進吾

ドイツ語学科

浦部 千陽
永松 実
早川 野梨子

フランス語学科

小田 風
古賀 奈々子
龍 真里奈

東アジア地域言語学科

内川 安由美
小野 沙也香
佐藤 加奈子

法学部

法律学科

岩下 江里
上野 里奈
小野 貴裕

桑原 啓司

小松 信之祐

崎田 麟太郎

佐藤 秀星

佐野 菜々子

篠原 惇志

中上 優花

中谷 清純

林 真夕

藤中 健弥

藤本 陽平

藤原 結花

松下 聖

皆吉 圭

山田 澤

リ ジャリ

経営法学科

井手 誠

ト部 華奈

小田 義人

塩先 紗弓

下釜 彩佳

妹尾 夏紀

中垣 孔涼

水島 寛之

皆川 理紗

経済学部

経済学科

赤嶺 将太

池田 彩乃

市橋 祐里

市原 功也

岩橋 貴澄

江島 隆誠

小川 晴生

金森 啓吾

川山 里菜

公文 翼

小路丸 真二

合原 優希

後藤 優治

佐藤 知世

山藤 萌

山島 美里

平石 尚也

松林 里佳

八道 大地

山口 泰史

産業経済学科

上野 一希

甲斐 智洋

坂本 絵梨加

長岡 美樹

西川 実来

久枝 菜奈

古家 耀介

本多 愛美

美戸 彩

商学部

商学科

石橋 澤

梅 実都

澤田 進之介

薄 紗和子

高森 康平

豊岡 春樹

水田 佳奈

宮本 七和美

山内 宏美

山谷 舞

由布 彩加

経営学科

岩上 耕太郎

小松 育弘

清水 かおり

月俣 紗弥夏

手嶋 いづみ

野田 弥沙

峯 拓哉

宮崎 優子

柳 美咲

矢野 かおり

矢野 晴菜

浅山 晃佑

橋本 沙也加

原田 佑香

藤原 万冬

三浦 ひかる

峰松 成佳

横大路 由里

吉永 由美

商学部第二部

商学科

石岡 加津枝

石原 亜紗実

黒木 敦子

佐藤 優実

高松 幸輝

田代 説

横川 雄士

理学部

応用数学科

奥田 健斗

熊井 彩花

福岡 志保

物理科学科

荒巻 昂

福田 和記

山本 彩由佳

化学科

二宮 秀美

東 弘樹

行武 美華

地球園科学科

加藤 咲

福永 真弓

藤井 香名

工学部

機械工学科

一木 馨伍

笹川 大介

田中 佑弥

藤井 駿介

満田 雄大

電気工学科

永田 竜馬

香山 諒次

三浦 幸平

水崎 雅之

龍 輝優

電子情報工学科

野代 智也

野口 啓吾

武藤 彰吾

矢部 嘉人

大和 祐介

化学システム工学科

鹿嶋 綾香

田中 亜依

徳永 真一

原田 真緒

吉野 嵩啓

社会デザイン工学科

岡田 隼弥

熊野 仁美

中村 祥成

福森 亮太

藤木 拓哉

建築学科

伊藤 雅治

友田 裕子

中川 日菜子

中澤 由佳

山田 育美

医学部

医学科

大津 麻祐子

金子 竣

河野 淳一

佐々木 颯太

高橋 信敬

竹茂 彰子

松尾 皇佑

看護学科

池田 知代

奥村 万葉

倉元 志穂

戸田 ゆうき

山地 真央

薬学部

薬学科

岩田 瑞希

江崎 翔平

久保 千晶

久保田 桃子

河内 華穂

後藤 将太郎

権藤 寿明

白石 ちひろ

白水 英未

原田 洗秀

平田 理菜

牧野 瞳

村石 悠介

初井 奈美

山崎 貴史

山野 聡

横山 絵美莉

スポーツ科学部

スポーツ科学科

安部 功陽

宇野 凌汰

馬越 健太

江越 亮太

鎌田 恵輔

鈴木 大志

田中 勇

谷崎 眞一

蓮池 隆之

宮崎 祥乃

健康運動科学科

嶋田 美咲

田中 璃己

松本 美優

※学部・学科ごとに氏名五十音順に掲載 計 203人

特待生表彰式



6月13日（土）、特待生に選ばれた203人に対して、全体表彰式、学部別表彰式を行いました。

全人教育の推進を基盤とする 教育、研究、医療の さらなる発展・向上に配慮

学校法人福岡大学の平成27年度予算は、3月26日に開催された理事会および評議員会の承認によって成立しました。
この予算には本学の目指す道が明確に示されています。



学校法人福岡大学 常務理事 財政担当副学長
畠田 公明

おける全人教育の推進を基盤とする教育、研究、医療がさらに発展・向上できるように配慮しています。

教育関係では、本学の教育研究システムを基盤とするFUTURES4（福岡大学教育研究システム）をFUTURES5に更新するとともに、アジア諸国との関係を中心としたグローバル人材の育成を推進する事業が盛り込まれています。施設関係では、福岡大学体育館施設（仮称）新築工事、8号館・9号館・11号館耐震改修工事、ラグビー場西側グラウンド整備工事を予定しています。研究関係では、基盤研究機関研究所・産学連携研究機関研究所のさらなる充実を図ります。医療関係では、

知識基盤社会の到来、ICTの普及、急速なグローバル化の進展をはじめとする社会環境の急激な変化を受け、グローバル人材の育成、イノベーションの創出、経済再生、地域再生、活性化等、大学に対する社会からの期待が高まっている中、本法人もこのような期待に応えなければなりません。

平成27年度予算では本学に

福岡大学病院は「患者中心のあたたかい医療」の病院理念の実現のために、医療人に求められる資質の向上に努めます。筑紫病院では、新たに「地域がん診療病院」の申請を行います。

本法人は、さまざまな施策において「学生・生徒のため」「患者のため」「地域のため」という視点を重要視し、さらに充実に取り組みしていきます。また、本法人では、学校法人会計基準の改正を求める「学校法人の作成する計算書類等の内容がより一般に分かりやすく、社会から一層求められている説明責任の確に果たすことができるものとする。」という考え方を実践していきます。

- 重点施策および内容**
本年度の予算については、次の5項目が具体的な施策として盛り込まれています。
- 1 教育体制の整備・充実**
本学の教育研究システムの基盤であるFUTURES4をFUTURES5に更新し、各種学内情報システムの積極的な活用を支援します。また、現代社会において求められる多様な視点の視点に立って、日本およびその文化の理解に上る異なる文化圏の人々の考えを共有、醸成し、さまざまな場面での協働行動を促す人材の育成を目的とした「グローバル・アカデミックプログラム（GAP）」の定着および拡充を図ります。さらに、施設・設備関係では、福岡大学体育館施設（仮称）新築工事、8号館・9号館・11号館耐震改修工事、ラグビー場西側グラウンド整備工事、教育装置・教育基盤設備などの大型機器の導入を行い、教育環境の整備を図ります。
- 2 研究・情報体制の整備・充実**
コンプライアンス教育の実施と研究倫理規程の制定等、研究活動の遂行におけるガイドラインの改正に係る実効性のある取り組みを実施し、研究体制の整備・検証を行います。また、研究部門の9つの基盤研究機関研究所による研究を進め、研究基盤の充実を図ります。さらに、産学連携部門の12の産学連携研究機関研究所による研究を進め、研究成果の実用化等の促進を図ります。
- 3 医療・健康体制の整備・充実**
福岡大学病院では、第IV期統合医療情報システムの整備を行い、筑紫病院では、厚生労働省の新たな指針に基づき「地域がん診療病院」の新規申請を行います。
- 4 社会貢献の整備・充実**
地域連携協定に基づいた「創業」「健康まちづくり」等をテーマに、福岡市をはじめ各自治体との連携による地域活動を展開するとともに、「地（理）の拠点としての整備」に取り組みます。また、本学の「教育研究・医療」の成果を基にした教育プログラムを、幼児から高齢者までの幅広い世代へ生涯学習の機会を提供します。
- 5 経営基盤の強化**
財政基盤の強化と予算編成内容の見直しをはじめ、収益事業等の推進、外部資金獲得事業の推進、大学病院経営改革に向けての取り組みを行います。

平成27年度 学校法人福岡大学収支予算について

平成27年度予算の重点施策

- ① 教育体制の整備・充実 ② 研究・情報体制の整備・充実 ③ 医療・健康体制の整備・充実 ④ 社会貢献の整備・充実 ⑤ 経営基盤の強化

平成27年度予算の特徴

- ① 教育関係：FUTURES（福岡大学教育研究システム）の導入「グローバル人材育成推進事業」
② 研究関係：基盤研究機関研究所「産学連携研究機関研究所」
③ メディカル部門：福岡大学病院「第IV期統合医療情報システム」
④ 施設関係：福岡大学体育館施設（仮称）新築工事「8号館・9号館・11号館耐震改修工事」「ラグビー場西側グラウンド整備工事」など

■平成27年度事業活動収支予算（予算規模741億円）

科目	27年度予算額	26年度予算額	差異
1 学生生徒等納付金	26,620,158	26,604,603	15,555
2 手数料収入	1,393,797	1,276,201	117,596
3 寄付金収入	849,369	855,274	△5,905
4 国や地方公共団体からの助成金	5,757,328	5,293,446	463,882
5 国や地方公共団体からの助成金	999,135	983,098	16,037
6 医療収入	36,251,206	36,824,318	△573,112
7 医療収入	1,705,157	1,524,453	180,704
8 医療収入	5,164,930	5,328,751	△163,821
9 医療収入	26,015,741	21,843,353	4,172,388
10 医療収入	12,919,594	12,670,878	248,716
11 医療収入	92,400,512	89,346,287	4,054,225
12 医療収入	15,489,603	17,738,710	△2,249,107
13 医療収入	107,890,115	106,084,997	1,805,118
14 医療収入			
15 医療収入			
16 医療収入			
17 医療収入			
18 医療収入			
19 医療収入			
20 医療収入			
21 医療収入			
22 医療収入			
23 医療収入			
24 医療収入			
25 医療収入			
26 医療収入			
27 医療収入			
28 医療収入			
29 医療収入			
30 医療収入			
31 医療収入			
32 医療収入			
33 医療収入			
34 医療収入			
35 医療収入			
36 医療収入			
37 医療収入			
38 医療収入			
39 医療収入			
40 医療収入			
41 医療収入			
42 医療収入			
43 医療収入			
44 医療収入			
45 医療収入			
46 医療収入			
47 医療収入			
48 医療収入			
49 医療収入			
50 医療収入			
51 医療収入			
52 医療収入			
53 医療収入			
54 医療収入			
55 医療収入			
56 医療収入			
57 医療収入			
58 医療収入			
59 医療収入			
60 医療収入			
61 医療収入			
62 医療収入			
63 医療収入			
64 医療収入			
65 医療収入			
66 医療収入			
67 医療収入			
68 医療収入			
69 医療収入			
70 医療収入			
71 医療収入			
72 医療収入			
73 医療収入			
74 医療収入			
75 医療収入			
76 医療収入			
77 医療収入			
78 医療収入			
79 医療収入			
80 医療収入			
81 医療収入			
82 医療収入			
83 医療収入			
84 医療収入			
85 医療収入			
86 医療収入			
87 医療収入			
88 医療収入			
89 医療収入			
90 医療収入			
91 医療収入			
92 医療収入			
93 医療収入			
94 医療収入			
95 医療収入			
96 医療収入			
97 医療収入			
98 医療収入			
99 医療収入			
100 医療収入			

経常収入に対する比率



◆ 経常収入
収入2.3%
受取利息・配当金0.8%
医療収入49.2%
学生生徒等納付金36.1%
手数料1.9%
寄付金1.1%
経常費等補助金7.2%
付随事業収入1.4%
借入金等利息0.2%
予備費0.4%
人件費53.8%
教育研究経費42.0%

◆ 経常支出



◆ 経常支出
管理経費4.1%
予備費0.4%
人件費53.8%
教育研究経費42.0%
借入金等利息0.2%
手数料1.9%
寄付金1.1%
経常費等補助金7.2%
付随事業収入1.4%
借入金等利息0.2%
予備費0.4%
人件費53.8%
教育研究経費42.0%

経常的な収支のうち、財務活動の収支を見ることで、27年度は3億8,708万円の収入超過となり、26年度より収入超過が1億9,061万円増加。

毎年度の収支バランスを見ることで、従来の収支差額である、27年度は5,059万円の収入超過となる見込み。

事業活動収支予算の概要

※学校法人会計基準の改正に伴い、消費費収支予算の事業活動収支予算に変更となっています。

基本金組入前年度収支差額に相当する基本金組入前年度収支差額（事業活動収支予算）は、5,059万円の収入超過を見込み、従来の収支差額比率に相当する事業活動収支差額は、0.1%となっています。
・人件費比率（人件費÷経常収入）は、53.8%となり、前年度予算より0.3ポイント高くなっています。

資金収支予算の概要（前年度予算との比較）

注：↑増加を示す ↓減少を示す

収入の部
・補助金収入
・医療収入
・その他の収入

支出の部
・教育研究経費支出
・施設関係支出
・設備関係支出
・資産運用支出
・その他の支出

（資金収支規模と年度収支差額）
・資金収支の合計は、1,078億9,011万円で、前年度予算より18億5,171万円の増加となっています。

・資金収支のてん末としての27年度収支差額は、151億3,422万円で、前年度予算より26億7,516万円の減少となっています。

支出として計上した未収入金と、前年度収支差額とを差し引き、前年度収支差額を差し引くことにより、資金の支出超過を調整するためのものです。

学生生徒等の教育・研究・医療のために支出する経費です。

総務、人事、財務、経理等の業務に要する経費、教職員の福利厚生のための経費などです。

教育研究用の機器設備、管理用の機器設備、図書などを取得するための支出です。

支出として計上した未収入金と、前年度収支差額とを差し引き、前年度収支差額を差し引くことにより、資金の支出超過を調整するためのものです。

皆さまでご理解と協力をよろしくお願いします。

資金収支計算書

1. 現金収支の「キャッシュフロー計算書」に似た性格を持つ計算書であり、採算の取れた経営を行っているか、経営上赤字になっていないかを見る計算書です。
2. 企業会計の「損益計算書」の出入りを集計した計算書です。

事業活動収支計算書

1. 現金収支の「損益計算書」に似た性格を持つ計算書であり、採算の取れた経営を行っているか、経営上赤字になっていないかを見る計算書です。
2. 企業会計の「損益計算書」では計上対象とならない資本的支出が基本金組入額として計上されています。

学校法人会計の豆知識

- ・平成27年度から学校法人会計基準が改正され、資金収支計算書では勘定科目の見直しが行われています。また、従来の消費費収支計算書は名称が事業活動収支計算書となり、内容が大幅に変更されています。
- ・学校法人は営利の追求を目的とする一般企業とは異なり、教育研究活動を目ざとする公共性の高い法人です。

「福岡大学ビジョン2014・2023」重点項目の達成に向け平成27（2015）年度事業計画の基本方針を次のとおり定める。

につながる研究プロジェクトや街づくりの取り組みを推進し、地域の活性化と発展に貢献する。また、地域の課題発見・解決型

に貢献する。また、地域の課題発見・解決型に貢献する。また、地域の活性化と発展につながる研究プロジェクトや街づくりに取り組むを推進し、地域の活性化と発展の講義や現地学習の充実化を進めることで、主体的に課題解決に取り組む、地域や社会の発展に貢献できる人材の育成に努める。

■重点的に取り組む事項

地域連携推進体制の整備、生涯学習事

業の積極的展開

ビジョンの達成、本学の安定的な発展のためにさまざまな事業に取り組み、そのためには強固な組織基盤が必要である。学長のリーダーシップに基づくガバナンスの確立や財政基盤の強化、本学の特色をより明確にするためのメリハリのある資金配分等、大学の組織基盤を強化する。また、教学に関する事項、経営および管理運営に

関する事項について、必要な情報を収集分析し、計画の策定を支援する体制および機能を強化する。

■重点的に取り組む事項

数値ＩＲの体制整備、ガバナンス機能の強化、財政基盤の強化と予算編成内容の

井手 俊輔	二万円
小原 一郎	八万円
(十九万円)	様

河村 正徳	池田 雅文	加茂 愼二	杉尾 千草	濱崎 弘志	二万八千円
(三万三千円)	(九万円)	(十二万六千円)	(五万八千円)	(九万二千円)	
榎	榎	榎	榎	榎	

川野	國崎	石井	守山	南	松本	佐伯	黒田
耕	明	啓太	正樹	秀明	祐一	一尊	由美
六千四	八万九千四	二万四	四万四	六万四	二万五千四	二万五千四	二万五千四
様	様	様	様	様	様	様	様

坂上	福	壬生	置	置	置
講二	由紀	伸子		名	名
(二万二千円)	(二万千円)	(三万九千円)		(二万四千円)	(四万九千円)
様	様	様		様	様

■ 萬円	井手 俊輔	八万円	様
小阪 一郎	十九万円	様	
日高 英史	八万円	様	
匿名	八万円	様	
■ 二万円千円	加茂 賢二	十六万円	様
杉尾 千草	五万円八千円	様	
濱崎 弘志	九万円千円	様	
■ 一万円	池田 雅文	九万円	様
片岡 宣行	十三万円	様	
河村 正徳	三万円千円	様	
黒田 由美	二万五千円	様	
佐伯 一尊	六万円	様	
松本 祐二	六万円	様	
南 秀明	様		
守山 正樹	四万円	様	
■ 二万円千円	石井 啓太	様	
岡崎 明	八万円千円	様	
川野 耕	六万円	様	
坂上 謙二	二万円千円	様	
福 由紀	二万円	様	
千生 伸子	三万円千円	様	
匿名	二万円千円	様	
匿名	二万円千円	様	
匿名	四万円九千円	様	

福岡大学で起きていることを
ニュース形式でお届けします。



地域交流サロンへの期待を語る吉村区長



乾教授によるキッズサッカー教室の説明の様子

よって己の力を伸ばしていると感じます。こうした活動は地域支援という効果だけでなく、学生の成長にもつながっていると実感しています」と、取り組みの意義を説明。その他、銭湯活性化プロジェクトや健康セミナーなど多様な地域活動を、本学の教職員と学生計17人のプレゼンターが紹介し、その熱のこもった説明に会場の参加者は興味深く耳を傾けました。

最後に城南区の吉村展子区長が「このサロ

■地域ネット推進センターの役割



5つのテーマを軸とした 地域活動を紹介

本学では総合大学の特色を生かし、「地域振興・まちづくり」「安全・安心」「健康・医療」「環境」「子ども育成・学校支援」の5つのテーマを軸に、地域の課題解決に向けた活動に取り組んでいます。

学、地域、行政、みんながwin-winの関係になれる場になっていくことを願っています」と話し、セレモニーを締めくくりました。



「地域交流サロンを地域活性の拠点とし、福岡市の発展にも貢献したい」と、高島市長と熱い握手を交わす斎藤学長

■地域活動紹介(プレゼンテーション)

スポーツで幸せなまちづくり	乾 眞寛 (スポーツ科学部教授)
福岡地域の科学啓発活動	平松 信康 (理学部教授)
地域とつくる考古学	松田 麻里 (人文科学研究科院生)
銭湯活性化プロジェクト	溝口 文菜 (商学部学生)
「景観まちづくり」という仕事	石橋 知也 (工学部助教)
福岡大学大運動会「七福五輪」	伊達 綾子 (スポーツ科学部学生)
学んで予防! 福大病院健康セミナー	金森 勝俊 (医療情報部事務室長)
学校適応支援教室「ゆとりあ」での取組	吉積 太地 (人文科学研究科院生)
地域で守る室見川の「環境」と「文化」	伊豫岡 宏樹 (工学部助教)
メンタルサポート研究会	寺崎 果林 (メンタルサポート研究会代表)
政策科学研究教育	梶井 昌邦 (経済学部教授)
児童の体力について考える	安方 博 (スポーツ科学部助教)
福岡大学起業家研究会	内田 綾乃 (商学部学生)
地域の水害防災	浜田 晃規 (工学部助手)
地域パレード	下川 一樹 (七隈実行委員会)
福岡・東アジア・地域共生研究所の取組	山田 雄三 (福岡・東アジア・地域共生研究所員)
地域と学生の関係性	藤田 大輝 (法学部学生)

敬称略



「銭湯活性化プロジェクト」についてプレゼンテーションを行う溝口文菜さん



「地域ネット推進センター」発行の「地域はつとブック」



今泉地域ネット推進センター長(副学長)が地域交流サロンの概要を説明



地域活性について抱負を語る高島市長

「地域の課題解決の拠点となる 「地域交流サロン」 オープニングセレモニー開催

「地域活性の新しいアイデアが
生まれることを期待

2014年3月、福岡大学と福岡市は、相互の知的・人的・物的資源の交流・連携を図り、地域社会の発展と人材育成に寄与するため、「包括連携協定」を締結しました。その具体的な活動実現化の一環として、地域のさまざまな課題の解決に向けたイノベーションに取り組む拠点となる「地域交流サロン」を60周年記念館2階に開設し、2015年5月16日(土)に、そのオープニングセレモニーを開催しました。

本学や福岡市の関係者をはじめ、学生や地域住民の方など約100人が参加したセレモニー。その冒頭で、斎藤学長は「本学の学生と地域や行政の方々の積極的な交流や対話を通して、地域活性の新しいアイデアが生まれ、成果を上げることで福岡市の発展にも貢献したい」とあいさつ。次に高島宗一郎市長は「少子高齢化が進み、日本の人口が減少する中で、今後は地域の問題を地域で解決することがますます重要になっていきます。このサロンから最先端の成功事例が生まれ、そんな福岡大学モデルが全国に広がっていくことを期待したい」と話されました。

4つの機能を持つ交流拠点へ

今泉博国地域ネット推進センター長(副学長)がサロンの主要な4つの役割を説明。「こ

本学が取り組んでいる 多種多様な地域活動を紹介

セレモニーでは本学が取り組んでいる地域活動の紹介が行われました。最初のプレゼンターとなったスポーツ科学部の乾眞寛教授は、自身が監督を務めるサッカー部の部員が中心となって取り組んでいる事例を紹介。本学サッカー場で定期的に開催しているキッズサッカー教室や地域の小学校における体育授業のサポートなどの活動を報告しました。「小学生にスポーツや運動の指導を行いながら、学生たちは自ら考えることに

「学生生活安全あんしんセミナー(第1回)」を開催

5月25日(月)、中央図書館の多目的ホールで、「学生生活安全あんしんセミナー」を開催しました。学生生活等をめぐる事件・事故を防止するための講習会等はこれまでで開催していましたが、事件・事故が多様化していることに伴い、それらからの危険を未然に防ぐため、今年度から年間を通じて開催することになりました。

第1回となる今回は、早良警察署生活安全課長をはじめ3人の警察官から「女子学生に役立つ防犯知識と対処法」について、護身術

の実演を含めながら講演いただきました。今後のセミナーの詳細については、「F.U.ポータル」で確認してください。

【今後のテーマ(予定)】

第4回 10月	第3回 7月	第2回 6月
「インターネットに関するトラブル対処法(SNSでのトラブル含む)」	「ブラックアルバイト、おともだち商法について」	「飲酒運転撲滅の願い」



いざという時のために、護身術を身に付ける本学学生

「第11回学生チャレンジプロジェクト」選考結果

学生チャレンジプロジェクトとは、本学学生の自主的・自由な発想から企画された独自のプロジェクトを、福岡大学が物心両面から支援するというものです。地域問題・環境問題・福祉文化・キャンパスライフなど、学生が独自の探究心や創造力を存分に発揮できる機会となっています。

平成27年度第11回学生チャレンジプロジェクトには3件の応募があり、5月18日(月)に各プロジェクトのプレゼンテーションが行われました。結果、学生チャレンジプロジェクト実行委員会の選考を経て、以下の1件が採択されました。

「七福五輪」

「私たちからすべての人たちにへ」
福岡大学大運動会
代表者伊達綾子さん(スポーツ科学部
スポーツ科学科3年次生) 他24人

■目的

本学学生、教職員、卒業生、地域住民の方を対象とした大運動会を開催。スポーツというコミュニケーションツールを活用し、福岡大学の魅力・素晴らしさを伝えるとともに、参加者同士のつながりの場をつくることを目的としています。



6月12日(金)に行われた認定式の様子

イベントスケジュール

※学部や学年などによって異なる場合があります。

6月

交換留学生募集(オーストラリア・中国・韓国・台湾)
(5月26日～6月5日)
父母懇談会 ※医学部医学科は別日程
(7日 松山、14日 宮崎、20日・21日 福岡、27日 佐賀、28日 広島)
特待生表彰式(13日)
九州地区大学体育大会夏季大会(6月20日～8月19日)
商学部第二部夏季球技大会(21日)
学術文化祭(22日～26日)
音楽の夕べ(28日)

7月

父母懇談会(4日 那覇、5日 熊本)
休日授業日(20日 海の日)
前期授業終了(23日)
前期定期試験(7月24日～8月2日)

8月

海外研修生派遣(韓国)(2日～22日)
夏季集中講義開始(3日)
夏季休業開始(4日)
オープンキャンパス(8日)
海外夏期英語研修生派遣(イギリス)(8日～30日)
東日本復興支援プロジェクト(18日～24日)
交換留学生派遣(イギリス・ブラジル)

9月

商学部第二部グリーンキャンパス(5日・6日)
海外研修生募集(アメリカ・オーストラリア)(7日～17日)
夏季休業終了(13日)
後期授業開始(14日)
海外春期中国語研修生募集(中国)(15日～25日)
交換留学生受け入れ(中旬)
前期卒業式(26日)

10月

九州六大学野球秋季リーグ戦福岡西蔵愛媛戦(上旬)
商学部第二部秋季球技大会(11日)
アジア圏協定校との学生交流セミナー(20日～30日)
交換留学生募集(イギリス・アメリカ・フランス・ブラジル)
(10月27日～11月6日)

表彰

・福岡大学長賞(大賞)1作品(副賞:図書カード50,000円分)
・全日本川柳協会賞(優秀賞)1作品(副賞:図書カード30,000円分)
・西日本新聞社賞(優秀賞)1作品(副賞:図書カード30,000円分)
・入賞50作品(副賞:図書カード3,000円分)

募集締め切り

9月20日(日)＜当日消印有効＞

主催

福岡大学

後援

文化庁、全日本川柳協会、
全国高等学校文化連盟、福岡県、
西日本新聞社、NHK福岡放送局



6月4日(木)、福岡大学本館第一会議室で、平成27年度福岡大学大学院博士課程後期並びに医学研究科及び薬学研究科の博士課程給費奨学生表彰式を行いました。

大学院博士課程後期・博士課程給費奨学生8人を表彰



大学院博士課程後期・博士課程給費奨学生の皆さん(2人欠席)

記事訂正

「学園通信」春号(第49号)38頁の定年退職者一覧に追記

定年退職者(平成27年3月31日付)

高校教育職員

教諭	石田 憲実	附属若葉高等学校
◇	石田 美幸	◇
◇	福島 光男	◇
◇	山口 道弘	◇
◇	山中 敦子	◇

本誌「福岡大学学園通信」は昭和40年に創刊号が発刊されました。今の冊子タイプになって今号が記念すべき第50号です。今後も読者の皆さまに本学の情報を分かりやすく伝えていきます。ぜひ、皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。また、情報提供などありましたらお知らせください。

第50号(通巻220号)平成27年6月25日発行

編集・発行:福岡大学広報委員会(企画部広報課)

〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号

TEL:092-871-6631(代) E-mail: fupr@adm.fukuoka-u.ac.jp

「第11回(平成27年度)全国高校生川柳コンクール」作品募集中

福岡大学は、平成17年度から毎年開催している「全国高校生川柳コンクール」の作品を募集しています。活字離れが進む若い世代に、わが国固有の短詩形文化を親しんでもらい、文化振興の一助を図ることを目的としています。五・七・五の十七音で自由に創作できる川柳を通して、日頃感じていることを表現してください。

友情、勉強、部活動、家族、恋愛、夢、希望、社会へのメッセージなど、テーマは自由。高校生ならではの目線で描かれた作品をお待ちしています。詳細は、本学公式ウェブサイトをご覧ください。

来てみて 話して
こころの整理

ヒューマンディベロップメントセンターのご案内 (HDセンター:学生相談室)

専門のカウンセラーが学生の皆さんからの相談を受け付けています。

例えば・・・ ● だるくてやる気が起きない

- 人間関係がうまくいかない。キャンパスの居心地が悪い
- 前期試験のことが心配

どんな相談でも結構です。一人で悩まずに、HDセンターに来てみませんか? 相談内容の秘密は守りますので、安心して相談してください。自己理解や社会的場面での役立つスキルを学ぶことなどを目的とした体験型セミナーも夏季休業中に実施します。詳細はHDセンターのウェブサイトを確認してください。

費用 無料(相談、セミナー、交流会)

完全予約制

相談時間 月・水・木・金/9:30～16:00
火/9:30～18:40

場所 学生部事務室棟3階
(1階に学生課のある建物)

○本学学生のことであれば、ご家族・教職員の皆さまからの相談もお受けしています。

ご予約・お問い合わせ

092-871-6631 (代)

(内線2630) ※お電話は平日の16:30までをお願いします。

●HDセンターウェブサイト <http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu816/home1/hd1.html>

Archive

— あの日から続く道 —



『福岡大学学園通信』創刊号1面

《 message.02 》

高い山は広い裾野を持っているように
高い知識は幅広い知識の上にのみ
得られるものである

今村有学長が、入学式で述べた式辞より『福岡大学学園通信』第3号(1966(昭和41)年4月発行)

西日本屈指の総合大学へと発展を遂げてきた福岡大学
その発展に尽力した中興の祖、今村有学長(後に総長)

1965(昭和40)年12月

その学長のもとで創刊された『福岡大学学園通信』は
2003(平成15)年4月から現在の冊子タイプになり

そして今号で50号(通巻220号)

培われてきた歴史と伝統は、絶えることなく継承されていく



to next stage...